

アマサギ

初夏に日本の暖かい地域で見ることが出来る渡り鳥。通常は体全体が白く、コサギなど他の小型のサギと区別がしにくいのですが、繁殖期にオス・メス共に、頭から胸、背中にかけて、羽が薄いオレンジ色（あめ色）に変わるため、この季節だけは簡単に見分けることができます。

海外では野生動物のまわりを歩きまわり、動物の体についていた虫や、飛び出してくる小動物を食べています。日本でも、かつては農作業に使われていた馬や牛の周りにいました。今では耕運機のとを追いかけてエサを探するなど、場所や時代が変わっても生きていくためのたくましい姿勢は変わらないようです。

